

○3者ともB評価であるもの

（質問事項 22）

教師：長期・短期留学制度の充実等を図り、国際理解教育を推進している（B）

生徒：国際交流の取り組みが盛んにおこなわれ、異文化理解に役立っている（B）

保護者：学校では国際交流が盛んにおこなわれ、異文化理解に役立っている（B）

- * 今年度はコロナ禍の影響で、国際交流事業（留学、海外修学旅行等）の中止を余儀なくされたことから、このような結果になった。次年度以降の計画はすでに決まっており、新型コロナウイルス感染状況の改善をみながら実施に向けて取り組んでいきたい。

○3者のうちの2者がB評価で、また、教員の自己評価との差があるもの

（質問事項 19）

教師：ごみの分別・計量、節電等省エネに努め、環境問題への意識の向上に努めている（B）

生徒：節電やゴミの分別をところがけている（A）

保護者：子どもは、節電やゴミの減量をところがけ、環境に配慮している（B）

- * 教員自身の日々の環境問題の意識向上はもちろん、各質問項目の見直し、本校の地域や今の時代にマッチした評価項目を設定することが必要か。校内美化に関しても、生徒の意識と教員が求めている意識の差を埋めるようにしなければいけない。

（質問事項 21）

教師：SPH事業の成果を生かし、大学との連携を推進するとともに、特色ある教育活動に取り組み、商業高校としての専門教育の充実・発展と進路意識の向上を図っている（A）

生徒：大学との連携で専門的な教育や助言などを受け、進路意識の向上につながっている（B）

保護者：学校では、大学との交流が盛んに行われている（B）

- * 今年度はコロナ禍の影響で、特色ある商業教育に対する取り組みの、中止、縮小を余儀なくされたこともあり、生徒や保護者が満足いくものとはならなかった。学校側は、できるだけ実施可能な方策を求め企画していたものもあった、行事参加への生徒、保護者の不安感もある中で、従来の成果が出せなくなった。これも、新型コロナウイルス感染状況に左右される面もあるが、実施に向けてしっかり計画し取り組んでいきたい。

（質問事項 15）

教師：課題を抱える生徒の早期発見に努め、生徒が相談できる体制づくりや研修を行っている（A）

生徒：担任の先生をはじめ、学校の先生に気軽に相談することができる（B）

保護者：先生は、子どもの悩み等について気軽に相談に応じてくれる（B）

- * 原因として、相談を受けた教職員が時間をかけてゆっくりと丁寧な個別対応ができていないことで生徒に不満が残っている場合や、生徒の言葉による訴えがなく課題そのものに気付いていない場合もあるかもしれない。生徒や保護者の期待に応えられるよう、さらに校内体制や研修を充実するように改善に努める。教員の多忙や、事象の複雑化、相談する生徒のプライバシー等個人情報の保護等により情報共有の難しい面が増加している傾向がある。生徒がよく相談をする保健室（養護教諭）も、様々な生徒の対応に追われ生徒が相談を遠慮してしまう状況もあるようだ。

○ 昨年度と比較して評価が高くなっているもの。

（質問事項3）

教師：学習の基礎基本の確実な定着のために、個に応じたきめ細かな指導を行っている（A）

生徒：基礎から高度な専門知識の習得まで、段階に応じて自分に合った学習をしている（A）

保護者：先生は、基礎基本を重視したきめ細かな指導を行っている（B→A）

- * 分割授業や検定対策の指導、教員間の授業研修など、きめ細やかな指導を心掛けている部分が評価されたと思う。新型コロナウイルス感染予防による休校の間も、家庭学習用の教材、HPによる指示、登校日における質問会、提出課題の添削など、できる限り個々の学びに応じた指導を充実させた。このような取り組みは休校に関わらず、今後も日常の取り組みになかでも生かしていきたい。

(質問事項7)

教師：いじめの未然防止と早期発見に努め、いじめのない学校づくりに取り組んでいる (A)

生徒：いじめなどを心配せず、安心して学校生活を送れている (A)

保護者：学校は、いじめの未然防止と早期発見に努め、いじめのない学校づくりに取り組んでいる (B→A)

- * 生徒が安心して登校している姿に保護者もおおむね高評価していただいた(87%)。教育相談部における「よりよい学校生活を送るためのアンケート」を実施して、いじめの発見に関して、学年と情報を共有しながら、個々の生徒状況の把握に努めている。些細な事でも、保護者に連絡を取とりながら、協力して支援していくことを引き続き行う。

(質問事項 20)

教師：施設・設備面での安全管理を充分に行っている (B)

生徒：学校の施設設備は安全である (B→A)

保護者：学校は、施設・設備面での安全管理を充分に行っている (A)

- * 教師の評価は、校舎伝統と歴史があるが、施設が古くなっている箇所も目立ち、新設の高校と比べ見劣りする感があることによるものであろう。生徒の評価が上がったのは、昨年度末に生徒用トイレが一新され、美しく、使いよい場所になったことに起因する。精神的な支援による生徒の安全安心の保障(ソフト面)のみならず、施設の管理による生徒の安全安心の保障(ハード面)も怠らぬようにしていきたい。